



みどりの子

令和6年10月号

所沢市立荒幡小学校

校長 小林 雅行

今を生きている自分 ～勇往邁進～

やっとのこと、朝夕の涼しさを肌で感じるができるようになり、秋の訪れを間近に感じる今日この頃、「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉があるように、先日、能登半島北部を襲った記録的大雨で甚大な被害を受け、現在も消防や警察の皆さんを中心に、復旧に向け全力を注いでくれています。ニュースの中で流れた「何で能登ばかり・・・」という言葉がとても印象に残り、頭から離れません。突然の災難に見まわれた方々の一刻も早い回復を心から願うばかりです。

さて、話はかわりますが、次のような話を以前に読んだことがあります。

お米が一升枵にすり切りいっぱい入っているとしよう。一粒のお米をその升から取るとしよう。お米が減ったことがわかりますか？たぶん、分からないでしょう。

では、次の日また一粒、次の日もまた一粒、一週間、二週間経ち、お米が減っていることに気づくでしょうか。しかし、ずっと続けていくと、ある日突然、お米が確実に少なくなっていることが分かるはずですよ。

勉強もスポーツも、このことと同じです。勉強も一日ぐらいいさぼったって、どうなるものでもない、急に分からなくなるわけでもないし急にどうなるわけでもない。しかし、ずっと続けていくと、ある日、ふと自分が駄目になったと気づくものです。

つまり、勉強もスポーツも毎日の積み重ねが大事だということです。魔法のような勉強方法も練習方法もありません。明日すぐに勉強ができるようになるとか、明日すぐにスポーツの技術が向上し強くなるとか、そんな近道はないのです。毎日毎日、毎時間毎時間、今できることをやっていくしかありません。

秋の夜長、古い言葉になりますが「灯火親しむ候」です。テレビを消して、スマートフォンからも離れ、ご家族全員で読書をしたり、今日一日のでき事をお喋りしたりと、静かな空間で今しかないこの時間を大切に過ごしてみるのもよいと思いませんか？

人生、何が起こるか誰にも分かりません。だからこそ私達は、今、この瞬間を大切に、そして今ある仕事に全力を尽くすことで、真の人生が送れるのだと思います。

私の好きな言葉に「**勇往邁進**（ゆうおうまいしん）」があります。「恐れることなく、自分の目的・目標に向かって、ひたすら前進すること」という意味です。子供たちには「勇往邁進」の気持ちで、今を精一杯、頑張ってくれることを心から願っています。

一年間の振り返り時期となりました。学校では子供たちの健やかな成長のために全力で指導してまいります。ご家庭でも日々、様々な面においてお子様へのお声かけをお願いいたします。今後とも、ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。

子供たちの活動の様子をホームページ（R6今日の出来事）にアップしています。

所沢市立荒幡小学校

検索



二次元コード